

日本の美しい夏

日本には忘れたくない美しい言葉があります。昔の人たちが、いろいろな思いを込めてつくり出した。数多くの美しい言葉があります。

日本の風土に根づいてきた、季節にふさわしい言葉は、心なごむ雅やかな響きをもっています。自然になぞらえた言葉などの美しい日本の「夏」を一緒に楽しみませんか。



花笑み はなえみ
特にゆりの花が気高く咲くこと。
また、咲いた花のような優雅な笑顔のことです。



ドクダミ
濃い緑の葉っぱの間に白く輝く十字の花。
様々な薬効があり、皮膚病などに利用され、「十薬」とも呼ばれています。



麦秋 ばくしゅう
麦の穂が実り、収穫期を迎えた初夏の頃の季節のこと。梅雨が始まる前の雨の少なく短い期間です。



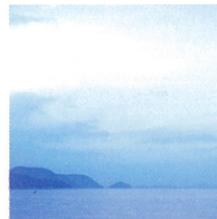
青梅雨 あおつゆ
青梅雨はすくすくと育つ木々の葉に降る雨。鬱陶しい雨の時期にふっと明るさを感じさせてくれます。



入道雲 にゅうどうぐも
もくもくと空にそびえ立つ夏を感じさせる大きな雲。お坊さんの坊主頭が、その由来だとか。発生した後は、雷が発生し雨が降りやすくなります。



蝉しぐれ
夏真っ盛り。蝉の音が聞こえますか？
蝉しぐれとは、鳴きしきる声の時雨の降る音のように聞こえることをいいます。



凧 なぎ
瀬戸内海のような内海では無風状態の継続時間が長く、夏はこればかりと現れる。このとき海面は鏡のようで、凧は直上します。



打ち水 うちみず
夏の暑さをしのぎ、涼を得るために、門前や庭などに水をまくこと。
気化熱を利用することにより、湿度を高くして体感温度を下げる効果も期待できます。

